



水環境ビジネス推進の取り組み状況について

平成25年8月
滋賀県商工観光労働部商工政策課

1

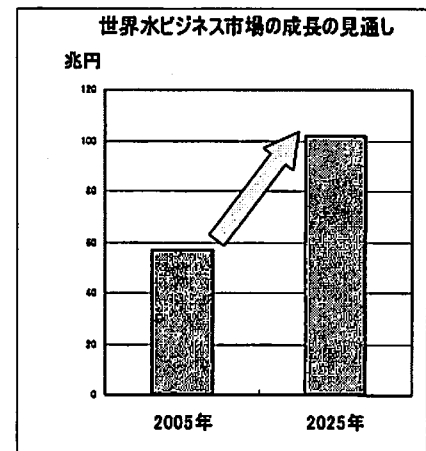
水環境ビジネスをめぐる国内外の現状

(1) 世界の水資源および水ビジネスの状況

- アジア諸国をはじめとして、人口増加や都市化・工業化の進展とともに、世界的に水需要が急増する見込み。
河川・湖沼における水質汚染が深刻化
- 2025年の水ビジネス市場規模は100兆円規模の予測。
- 企業、政府等による水ビジネスの海外展開が活発化。

(2) 自治体における水ビジネスの取組状況

- 政令指定都市(横浜市、大阪市、北九州市等)を中心に、これまでの上下水道の運営管理の実績や国際技術協力でのネットワークを活かした、上下水道インフラ等の海外展開の取り組みが進展。



出典:最新水ビジネスの動向とカラクリがよくわかる本(秀和システム 宮村和就氏著 2012年9月)をもとに作成

本県の進める「水環境ビジネス」とは

- 上下水道の設計構築・運営管理や海水淡水化や高度技術を用いたプラント建設などを指すいわゆる「水ビジネス」だけでなく、
- 水環境保全に係る分析機器の開発や水処理施設の省エネルギー化など、水に関わる環境分野のビジネスを含めたもの。

2

滋賀の水環境ビジネスの現状

平成23年度「水環境ビジネス展開研究調査」を実施

- 目的: 水環境に関するビジネスのポテンシャルを活かした展開を推進するため、取組の方向性をとりまとめる
- 調査方法: 企業アンケート(約1000社、うち427社回答)、ヒアリング調査(26社)、有識者による研究会の開催(計4回)

○結果概要:

- ◇本県の水環境ビジネスに取り組んでいる企業 **94社**
 - ・海水淡水化用途の逆浸透膜(RO膜)の生産や技術開発を行う大手メーカー
 - ・小型化や高寿命といった付加価値の高い製品を開発、製造する中小企業など

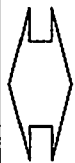
- ◇今後取組もうと考えている企業 **30社**

企業数は、いずれもアンケート回答427社中

- ◇本県における水環境ビジネスの強みと弱み

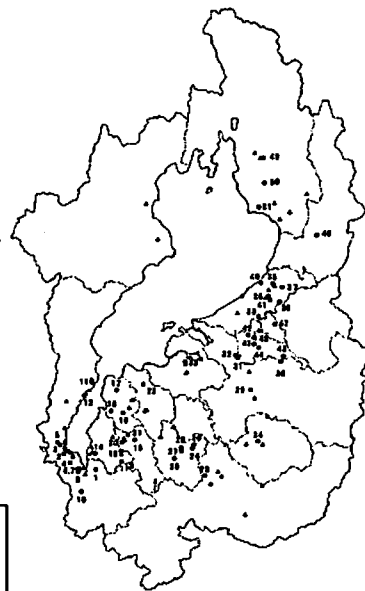
強み

- ・水環境に関する優れた技術や知見をする企業、研究機関の集積
- ・琵琶湖流域の環境保全に関する官民による取組の蓄積、関心の高さ



弱み

- ・水環境ビジネスの展開に不可欠な、技術やサービスをシステムで提案できる企業が少ない
- ・海外展開の情報、専門人材の不足 など



水環境ビジネスに取り組む県内企業の集積
(平成23年度「水環境ビジネス展開研究調査」結果)

滋賀の先駆的な取組「琵琶湖モデル」

- 滋賀県は、工場が集積し、全国屈指の「モノづくり県」として発展。琵琶湖の水を生活用水や産業用水などに広く活用しながらも、水質的には比較的良好な状態を維持。
- 県民、企業、大学、行政が連携しつつ、それぞれの立場から水環境保全に取り組む、ともに技術やノウハウを創出・蓄積。

1 琵琶湖を守る県民の活動、取組
～石けん運動、ヨシ群落の保全、琵琶湖一斉清掃、環境学習、河川流域の保全活動～

2 行政による琵琶湖の水環境保全に向けた制度設計、取組
～富栄養化防止条例をはじめとする条例制定、下水道の普及、マザーレイク 21 計画～

「琵琶湖モデル」を支える4つの柱

3 企業による地域に根差した水環境保全活動の進展・努力
～水質改善・保全に向けた行政との関係構築、企業団体の設立～

4 琵琶湖周辺に集積する知識・技術・ノウハウ
～先進的な水環境ビジネスに取り組む企業、大学等研究機関など～

滋賀の水環境ビジネスの展開

水環境ビジネスの展開の方向性

最新動向の情報提供や新規プレイヤーを発掘するためのセミナーの開催

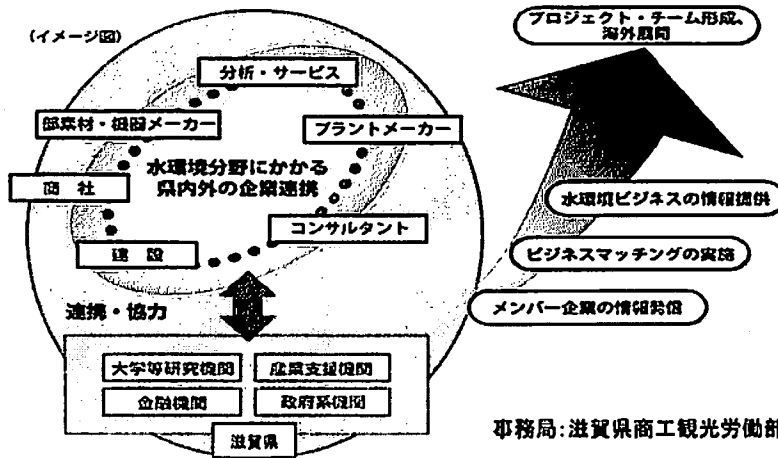
企業のみならず住民、行政を含む本県の水環境にかかる取組の蓄積(「琵琶湖モデル」)の整理

プラットフォームを形成し、特に中小企業のパートナーの発掘やマッチングを進める

企業の技術・サービスと「琵琶湖モデル」を併せた売り込み

県内企業の
水環境ビジネス
への参入・事業
拡大へ

しが水環境ビジネス推進フォーラム



5

水環境ビジネス これまでの取り組み (24年度)

①しが水環境ビジネスセミナーの開催

目的: 世界における水ビジネスの最新動向や先行事例を提供し、気運の醸成を図るとともに、フォーラム立ち上げに向けたネットワーク形成を促進する。

日時: 平成24年10月24日10:00-12:00

場所: 長浜ドーム(びわ湖環境ビジネスメッセ会場内)

基調講演: 「世界水ビジネスの最新動向と参入機会」
グローバルウォーター・ジャパン 代表 吉村 和就 氏

事例発表: 「水ビジネスの海外展開戦略(関西HANDsの取り組み)」
(株)ナガオカ 代表取締役社長CEO 三村 等 氏
「独自の水環境ビジネスの展開をめざす
～中小企業の国際化の始まりから今後の展望～」
(株)日吉 代表取締役社長 村田 弘司 氏

施策紹介: 近畿経済産業局
滋賀県

結果概要:

参加者: 79名

アンケート結果(主なコメント):

- ・水ビジネスの流れがよく分かった。
- ・トップの姿勢、スピードの重要さが非常に参考になった。
- ・日本企業の合同戦略の重要性を再認識した。
- ・日本企業の連携成功事例は大変参考になった。



セミナーの様子



講演者と知事

6

これまでの取り組み（つづき）

②しが水環境ビジネス見学会

目的:水環境ビジネス展開を図る上で参考となる施設の見学や水ビジネスの最新動向などを提供し、
気運の醸成を図るとともに、フォーラム立ち上げに向けたネットワーク形成を促進する。

日時:平成24年11月16日13:40-17:15 場所:湖南中部浄化センター

講演:「水ビジネスの現状と今後の展望について」

(株)神鋼環境ソリューション 水処理事業部 プロジェクト営業室課長 梶田 均 氏

説明:「湖南中部浄化センターについて」

滋賀県下水道公社

「滋賀県の下水道事業における課題と水ビジネス-淡海環境プラザの開設と今後の展開-」

滋賀県琵琶湖環境部下水道課

視察:湖南中部浄化センター、テストベッド、淡海環境プラザ

参加者:59名



汚水処理施設の視察



テストベッド用地の視察



淡海環境プラザの視察



講演風景

③北九州市海外水ビジネス推進協議会、ウォータープラザ北九州の視察

日時:平成24年11月27日 参加者:9名

・北九州市では、国際技術協力で培ったネットワークを活用し、積極的に水ビジネスを展開。

・ウォータープラザ北九州では、NEDO事業を活用し、東レ、日立プラントなどが参画して、海水淡水化と 7
下水再利用を統合させた造水システムの実証プラントと、先端技術を開発するテストベッド(5区画)を整備。

これまでの取り組み（つづき）

④ベトナム政府視察団の受け入れ

日時:平成24年12月5日

高い経済成長が続くベトナムでは、新たな工業団地の造成計画に伴い、排水処理や環境対策が急務。
今回はJICA事業により来日した建設省、ハナム省、ドンナイ省、バリアヴンダウ省、ハイフォン市の政
府関係者及び工業団地管理者等11名を受け入れ。

説明:滋賀県における水環境保全の取り組み等

(株)日吉

滋賀県琵琶湖環境部 環境政策課

視察:東北部浄化センター、フォーラムメンバー企業2社



視察の様子



講義風景



視察先の講師とベトナム政府視察団

これまでの取り組み（つづき）

⑤第2回しが水環境ビジネスセミナーの開催

目的：世界における水ビジネスの最新動向や先行事例を提供し、気運の醸成を図るとともに、フォーラム立ち上げに向けたネットワーク形成を促進する。

日時：平成25年1月28日14:00-18:15

場所：コラボしが21 3階大会議室

基調講演：「中国の水環境と水ビジネスの動向」

(株)チャイナ・ウォーター・リサーチ 代表 内藤 康行 氏

事例発表：「当社の排水プロセスと海外展開について」

(株)アオヤマエコシステム 代表取締役社長 青山 章 氏

施策紹介：日本貿易振興機構 大阪本部

滋賀県

結果概要：

参加者：93名



セミナーの様子



交流会の様子



CWR代表 内藤氏 9

これまでの取り組み（つづき）

⑥しが水環境推進フォーラムキックオフセミナーの開催

目的：世界における水ビジネスの最新動向や先行事例を提供し、気運の醸成を図るとともに、ネットワーク形成を促進する。

日時：平成25年3月25日13:30-18:00

場所：コラボしが21 3階大会議室

挨拶：滋賀県知事、近畿経済産業局長

講演1：「メタウォーターの国内外の水ビジネスの取組みについて」

メタウォーター(株) 国際・新事業技術部長 岡本 裕三 氏

講演2：「前澤工業のタイにおける水ビジネスの事例紹介」

前澤工業(株) 取締役海外推進室長 三田 志津雄 氏

施策紹介：滋賀県

結果概要：

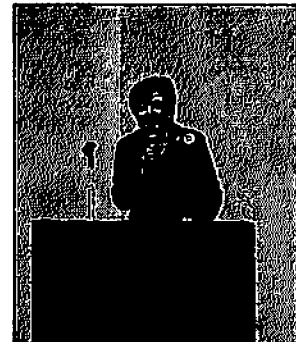
参加者：140名



キックオフセミナーの様子



小林近畿経済産業局長



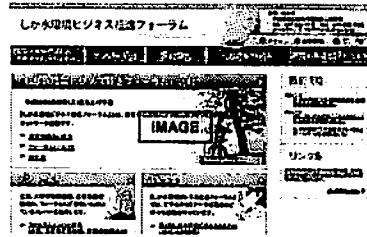
嘉田滋賀県知事

これまでの取り組み (つづき)

■フォーラム・ポータルサイトの立ち上げ

○県庁HP内に立ち上げ

- 内容: セミナーなどのフォーラム活動情報
 メンバーの紹介や募集
 支援施策の公募情報
 水環境ビジネスの取組事例紹介 など



■「滋賀の水環境ビジネス」の作成(日本語・英語・中国語)

○水環境保全の取組や県内に集積する技術サービス等をPRする冊子を作成。

○内容:

1. 経済発展と水環境保全の両立「琵琶湖モデル」
 全国屈指の「モノづくり県」として発展しながら、いかにして琵琶湖という閉鎖性水域の水質を保ち続けてきたかについて紹介
2. 滋賀県内の水環境関連企業の紹介
 部材や装置の製造、分析、コンサルティング等の水環境分野25社の技術・サービスを紹介。



11

「しが水環境ビジネス推進フォーラム」の設立

平成25年6月25日(月)設立

○目的: 水環境関連の産業・研究機関の集積や水環境保全の取組を活かした水環境ビジネスの展開を図る。

○会員数: 79企業・団体等(8月1日現在) メーリングリスト132名

うち県内: 66企業・団体等(84%)

県外: 13企業・団体等(16%)

○会員構成

企業	水環境ビジネスに取り組んでいる	44社
	今後取り組む意向がある	13社
	上記取組を支援していく	10社
※一部複数回答の企業・団体あり		
支援機関等	政府関係機関	4団体
	大学等研究機関	4団体
	経済団体・産業支援機関	3団体
	その他	5団体・個人

参加者
募集中

○取組分野例:

- 装置設計・製造(排水処理システム、浄水装置、ろ過装置等)
- 部材開発・製造(膜、バルブ、空気弁、管材、凝集剤、分析機器等)
- 分析コンサルティング(水質分析、環境測定・調査、上下水道維持管理等)
- ソフトウェア開発、海外展開支援、人材育成支援など

25年度しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動

①技術・経済交流団の中国・湖南省訪問(湖南省友好提携30周年記念事業)

平成25年7月15日(月)から18日(木)にかけて、滋賀県の友好都市である中国湖南省に友好提携30周年記念事業の一環として、知事を団長とする技術・経済交流団が訪問。

【主な活動】

■杜家毫 湖南省人民政府省長への表敬訪問

■環境分野における相互交流促進に関する覚書の調印

- 1 琵琶湖保全等の経験と成果をいかした技術協力および人材交流を展開する。
- 2 環境学習の分野における人材育成や環境学習の手法に関する技術協力を促進する。
- 3 上記技術協力や人材交流が双方間の経済交流の推進に発展するよう努力する。

■洞庭湖・びわ湖流域共同環境セミナー

政府関係者や研究者、大学生を対象に、双方の環境問題の現状や環境保全に向けた取り組みについてセミナーを開催。

■下水処理場視察

参加者:16名(企業13名、県3名)

今後、本県から技術協力が行われる下水処理場を訪問・視察

■環境関連機関および企業との意見交換

参加者:15名(企業13名、県2名)

湖南省環境保護庁から湖南省環境保護産業の発展状況等について説明。

現地環境関係機関および企業との意見交換(湖南省側21団体が参加)。



13

25年度しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動

②台湾企業視察団の受け入れ

日時:平成25年5月23日(木)

台湾・台南市政府よりBOTにより工業団地を運営管理している企業が、工業団地における排水処理対策を学ぶため、滋賀県の企業および浄化センターを視察。

表敬:滋賀県商工観光労働部長ほか

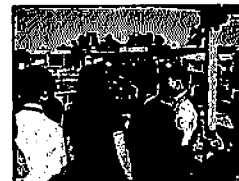
視察:フォーラム会員企業、湖南中部浄化センター



滋賀県商工観光労働部長表敬



排水処理システムの視察



自動採水装置の説明を聞く視察団

②-2台湾企業視察団の受け入れ(再訪県)

日時:平成25年7月7日(日)~12日(金)

具体的な商談、視察等を行うため、5月に続き訪県。

表敬:滋賀県副知事、滋賀県商工観光労働部長ほか

主なプログラム:工業団地の排水にかかる課題等説明会

フォーラムメンバー企業、湖南中部浄化センター等への視察訪問



現地工業団地における排水処理の課題等説明



湖南中部浄化センター視察



滋賀県副知事表敬(滋賀県庁)

14

25年度しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動

③しが水環境ビジネスセミナー(淡海環境プラザオープニングイベント)の開催 商工観光労働部と琵琶湖環境部との共催により「しが水環境ビジネスセミナー」を開催

目的: 淡海環境プラザの取り組みを紹介し、その活用を広く呼びかけるとともに、ネットワーク形成を促進する。

日時: 平成25年8月7日10:45-17:00

場所: 淡海環境プラザ
＜プログラム＞

講演1: 「日本の上下水道技術の海外展開」

国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官 加藤裕之 氏

講演2: 「海外水事情レポート-下水処理の現状と課題-」

(株)日水コン事業統括本部技師長(技術顧問) 竹島 正氏

活動報告: 滋賀県

ディスカッション、展示見学(交流会)

結果概要:

参加者: 87名

出展企業: 23社・大学



25年度しが水環境ビジネス推進フォーラムの活動

④水環境ビジネスコーディネーターの配置(平成25年6月～)



■目的: 県内企業のフォーラムへの参画の推進、情報の発信、ビジネスプロジェクトへの参加やプロジェクトの創出を図るため、企業や関係機関を訪問し、情報収集や、コーディネートを行う。

■氏名: 西村 透 (にしむら とおる)

■経歴: 大手商社に勤務
プラント取引が専門
中国駐在経験が長い

⑤各種メディアでの掲載

■水道産業新聞でのフォーラム特集記事1面掲載
平成25年6月27日号1面の特集記事が掲載される。

■地球環境とエネルギー誌6月号

(日刊工業新聞社)

「水ビジネスの世界 自治体が水ビジネスに力を入れる理由」特集で滋賀県の取り組みが紹介される。



しが水環境ビジネス推進フォーラムの今後の取組

びわ湖環境ビジネスメッセ2013

■時期:10月24日(木)~26(土)

■会場:滋賀県立長浜ドーム

■過去最多の314企業・団体が出展、来場見込3万6千人



(1) 特設ゾーン「しが水環境ビジネス推進プロジェクト」

■フォーラムから9企業・団体が出展

ワンフォール(株)、ダイセン・メンブレン・システムズ(株)、三和産業(株)、
(株)日吉、ダイヤアクアソリューションズ(株)、中島商事(株)、メタウォーター(株)
(株)ウェルシィ、しが水環境ビジネス推進フォーラム (順不同)

(2) 「しが水環境ビジネスセミナー」の開催

■日時:平成25年10月24日(木) 14:00~17:00

■場所:長浜バイオ大学 大講義室(定員360名)

■講師:吉村和就氏(グローバルウォーター・ジャパン代表)ほか



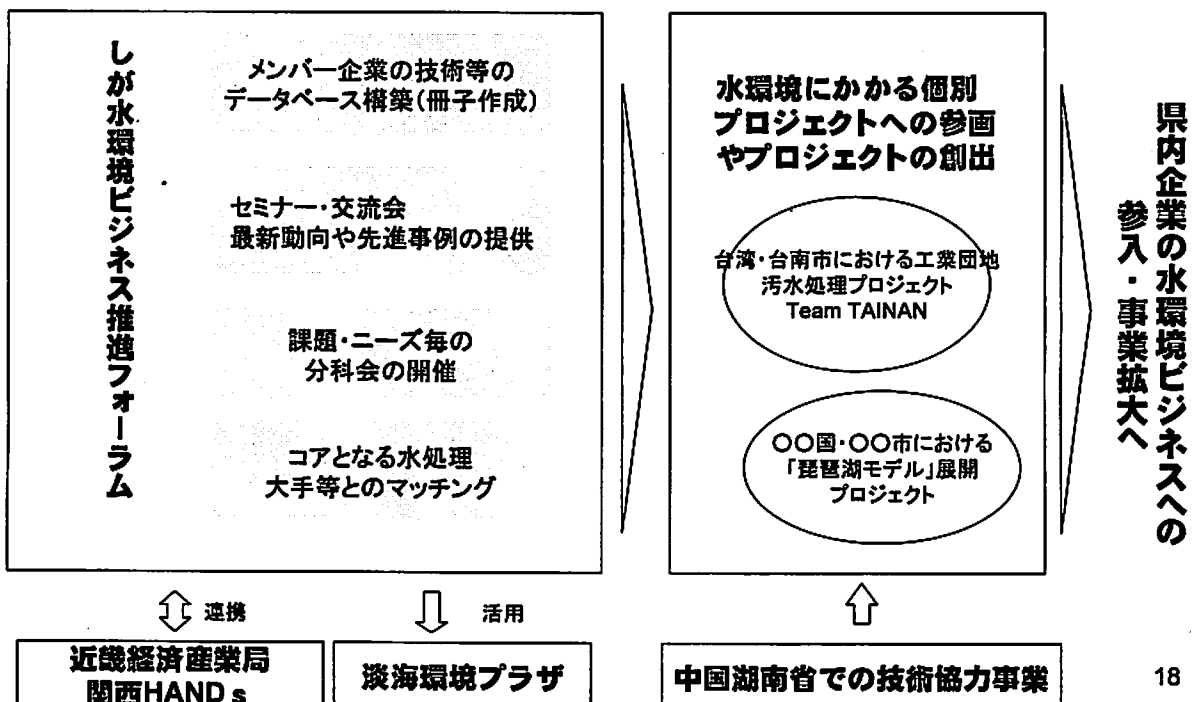
吉村和就氏

日本を代表する水環境問題の専門家吉村和就氏による世界の水ビジネスの最新動向の提供と、滋賀県の水環境ビジネスの海外展開の取組等の紹介を行います。

17

プロジェクト創出等に向けた取組

「しが水環境ビジネス推進フォーラム」をもとに、チームづくりに向けた分科会の開催や大手企業とのマッチングなどにより、個別プロジェクトへの参画やプロジェクトの創出を促進していく。



18

～しが水環境ビジネス推進フォーラム～

台湾・台南市における工業団地汚水処理プロジェクト

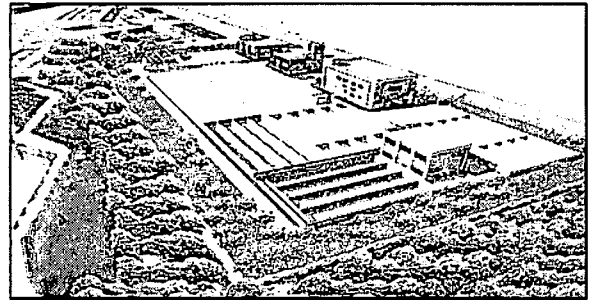
—Team TAINAN—

現地視察・交流事業のご案内

しが水環境ビジネス推進フォーラムでは、メンバー企業の情報発信やビジネスマッチングの実施、水環境ビジネスの情報提供を行うとともに、プロジェクト・チーム形成および海外展開を推進しています。

今回、台湾・台南市における工業団地の汚水処理に係る課題解決のため、本フォーラムメンバーで現地を訪問し、汚水処理施設の視察や意見交換を行うほか、市政府への表敬、現地企業との交流などを行うため、下記のとおり視察・交流事業を企画しました。

台湾での水環境ビジネス関連の事業展開を考えておられる企業・団体の皆さまのビジネス機会の創出の一助となれば幸いです。



期 間 : 平成25年8月27日(火)
~30日(金) 3泊4日

訪 問 先 : 台湾・台南市

日 程 : 裏面のとおり

参 加 費 : 15万円程度(内容は裏面をご覧ください)

※15名参加の場合。参加者の人数に応じ、増減する場合があります。

定 員 : 15名

申込締切 : 平成25年8月9日(金)17:00必着

申込方法 : 別紙参加申込書に記入(パスポート写し添付)の上、事務局あてに
FAXもしくはメールでお申し込み下さい。

企画監修 : しが水環境ビジネス推進フォーラム事務局

協 力 : 滋賀県中小企業診断士協会

取扱旅行社 : 有限会社第一観光サービス

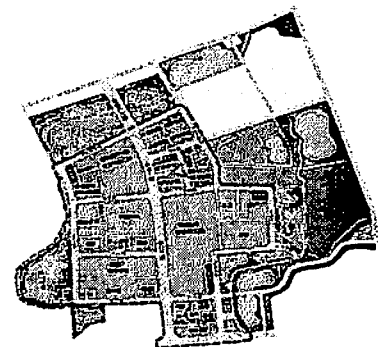
問い合わせ : しが水環境ビジネス推進フォーラム事務局 担当: 望月、上村
(滋賀県庁商工観光労働部商工政策課内)

大津市京町四丁目1番1号(県庁東館3階)

TEL 077-528-3712

FAX 077-528-4870

MAIL fa00@pref.shiga.lg.jp



	月 日	現地時間	内 容	備考
1	8月 27日 (火)	8:00 10:00 11:50 17:30頃 18:00~20:00	集合(関西国際空港) 関西空港発 中華航空 CI159 便 台湾・桃園空港着 ホテルチェックイン 桂田酒店 ■ 夕食会	空港から 専用車
2	28日 (水)	午前 12:00~13:00 午後 18:00~20:00	■ 永康科技工業区視察 ■ 病院・総合廃水処理場見学 ■ 昼食 ■ 台南市政府訪問 台南市旅行同業公会代表との面談 ■ 奇美グループ 関連企業等(車窓見学) ■ 聯奇開発との夕食会	専用車で 移動
3	29日 (木)	午前 12:00~13:00 午後 18:30~20:30	■ 樹谷園区での説明会 奇美グループ 企業等・訪問企業等による 双方企業紹介、質疑・意見交換等 昼食 ■ 樹谷園区汚水処理センター視察 ■ 意見交換 ■ 夕食会	専用車で 移動
4	30日 (金)	午前 11:30~12:20 13:15 14:40 15:30 17:25 21:00	■ 樹谷園区内施設見学 昼食 高速鉄道台南駅 高速鉄道桃園駅 空港チェックイン 桃園空港発 中華航空 CI158 便 関西空港着・解散	台南では 専用車で 移動

【ご注意事項】

行程は、相手方の都合等により変更になる場合がありますので、ご了承下さい。
また、キャンセル料については、取扱旅行社にお問い合わせ下さい。

<参加費に含まれるもの>

- ① 航空運賃(全行程の航空運賃、エコノミークラス)
- ② 全行程の専用バス(最終日の桃園駅から空港までを除く)
- ③ 宿泊料金(1人1部屋)
- ④ 食事料金(朝食3回、昼食3回、夕食3回:一定量のビール・ジュース等を含む)
- ⑤ 空港施設利用料、現地空港税、燃油サーチャージ、手荷物料金(規定内)
- ⑥ 団体行動中の料金(チップ、税金並びにサービス料)
- ⑦ 訪問企業・団体への記念品代
- ⑧ 最終日の台南→台北新幹線代
- ⑨ 現地ガイド料(通訳)、現地調整等経費

・参加者が定員を下回る場合は追加料金が生じることがございます。

・燃油サーチャージは原油価格高騰により変更になる可能性があり、その場合は、現行との追加差額は参加者でご負担いただきます。

・現地集合の場合は①・⑨は含まれません

<参加費に含まれないもの>

- ① 旅券手続き費用/旅券印紙代(旅券申請される方のみ)
- ② 超過手荷物料金
- ③ 海外旅行傷害保険
- ④ 旅行日程に明示のない旅費
- ⑤ その他個人経費(クリーニング代、電話代等)

<取扱旅行社> 有限会社 第一観光サービス 担当: 田中 Email: tanaka.hisato@violet.plala.or.jp
守山市下之郷三丁目 14-15 TEL: 077-583-8752 FAX: 077-583-4747